

【第4章】

施 策

第4章 施策

1 施策の体系

北海道が目指す「自立」と「共生」の基本理念を実現するため、「可能性を引き出す教育の推進」「質を高める環境の確立」「地域と歩む教育の実現」の3つを施策の柱に、22の施策項目を設定し、10年後を見据えた施策の方向性に向かって個別・具体的取組を推進することとしています。

2 体系図

3つの施策の柱

22の施策項目

施策の柱 1

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

- ① SDGs・ESDの推進<P29~>
- ② 幼児教育の充実<P31~>
- ③ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成(小・中学校)<P33~>
- ④ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成(高校)<P35~>
- ⑤ 特別支援教育の推進<P37~>
- ⑥ STEAM教育の推進<P39~>
- ⑦ キャリア教育の充実<P41~>
- ⑧ 体力・運動能力の向上<P43~>
- ⑨ 健康教育・食育の充実<P45~>
- ⑩ 道徳教育の充実<P47~>
- ⑪ ふるさと教育の充実<P49~>
- ⑫ グローバル人材の育成<P51~>

施策の柱 2

学びの機会を保障し質を高める環境の確立

- ⑬ ICTの活用推進<P53~>
- ⑭ いじめ防止の取組の充実<P55~>
- ⑮ 不登校児童生徒への支援の充実<P57~>
- ⑯ 教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進<P59~>
- ⑰ 働き方改革の推進<P61~>
- ⑱ 学びのセーフティネットの構築<P63~>

施策の柱 3

地域と歩む持続可能な教育の実現

- ⑲ 地域と学校の連携・協働の推進<P65~>
- ⑳ 生涯学習・社会教育の振興<P67~>
- ㉑ 安全・安心な教育環境の構築<P69~>
- ㉒ 芸術文化活動の推進<P71~>

3 ページ構成

施策の柱

施策項目

施策の方向性

施策の柱に向かい 10 年後を見据えて推進する施策の方向性です。

主な取組

施策の方向性に対する主な取組です。

施策は見開き 2 ページ

関連する SDGs の目標

施策に関連する持続可能な開発目標です。

施策の柱 1「子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進」

施策項目 3 新しい時代に必要な資質・能力の育成（小・中学校）

関連する主な SDGs の目標

4 質の高い教育をみんなに 17 持続可能な開発目標

○ コミュニケーション能力や主体性を育む体験活動の充実
・ 道立青少年体験活動支援施設等を核とした学校・地域・公立青少年教育施設等との連携強化

Topics 【学校段階間の連携・接続の推進】
児童生徒の発達の段階に応じた系統的な教育活動の充実を図るため、学校段階間の接続を意識した教育課程の編成、実施や指導方法の工夫・改善を図るとともに、各学校間の連携を促進します。
・ 幼稚園、認定こども園及び保育所の意見を踏まえたスタートカリキュラムを編成する小学校の取組を推進
・ 同一中学校区で教育目標を共有し、共通した取組を位置付けるなど、義務教育 9 年間を通じた教育課程の編成、実施、評価、改善（PDCA サイクル）の充実
・ 高校における、必要に応じた学び直しの視点を含めた教育課程の編成など中高の連携の充実

Information Communication Technology
・ クラウドを活用した情報共有ネットワークの構築による学校間の一層の交流
・ 各学校で実施するテストの CBT*化による 1 人 1 台端末を活用した学力向上に向けた取組の促進

【推進指標】

指標	現状値	目標値(R9)
どの程度、PDCA サイクルを確立しているかとの質問に対し、「よくしている」と回答した学校の割合	小 46.2%、中 49.0% (R4)	94.0%
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めることなどができていると回答した小学 6 年生、中学 3 年生の割合	小 80.3%、中 78.0% (R4)	100%
小・中学校の算数、算数・数学の平均正答率が全国以上の教科数	1 教科 (R4)	4 教科
授業以外に、1 日当たり 1 時間以上勉強すると回答した小学 6 年生、中学 3 年生の割合	小 56.6%、中 63.6% (R4)	74.0%
家庭や図書館で、書検、1 日 10 分以上読書をする回答した小学 6 年生、中学 3 年生の割合	小 57.1%、中 48.4% (R4)	73.0%
学校図書館図書標準を達成している学校の割合	小 42.5%、中 40.6% (R3)	小 70.0%、中 60.0%
近隣の小（中）学校と教育課程に関する共通の取組をよく行ったと回答した学校の割合	小 21.7%、中 30.2% (R4)	61.0%
中学校と高校との円滑な接続の視点を踏まえた教育課程を編成している高校の割合	37.8% (R4)	70.0%

担当課 HP

●子どもの望ましい生活習慣や学習習慣
子どもの望ましい生活習慣は、毎日同じ時期に実施することや毎日自覚を促していること、家庭で決められたルールを守ってゲーム等の利用を制限することや、家庭での学習環境を整えること、学習意欲を高める学習習慣のこと。

●学校段階や学校段階間
各学校段階は、小学校、中学校、高校のそれぞれで実施を推進。小学校と中学校の 9 年間、中学校と高校の 6 年間を指す。
●指導要領
各学段における教育課程、学習指導要領や教科書に関する専門的知見の蓄積に際しては、必要に応じて専門的知見を蓄積すること。

●CBT：Computer Based Testing
試験における下層（問題の配付、回答の入力、答案の採点、採点・集計）を、全てコンピュータで行うこと。

続く

ICT

ICT を活用し、より効果的に進める主な取組を記載しています。

推進指標

施策の方向性の達成状況を把握するための指標です。

担当課 HP

施策を推進する担当課 (R5.4 現在) のホームページにつながります。

用語解説

本文中の「*」を付した用語を解説しています。

Topics

複数の施策項目にまたがって記載のある取組の内容を紹介しています。

※施策項目 3 では「学校段階間の連携・接続の推進」を記載

※施策項目 20 では「家庭教育支援の推進」「読書活動の推進」を記載